

イラスト
静岡文化芸術大学 小浜 先生



夢を追いかけて

私が小学生のころ、母親がよく作ってくれた、三角のおいなりさん（稲荷寿司）を家族で食べると、幸せな気持ちになり笑顔になりました。子供心においしい食は、人を笑顔にし、心を豊かにしてくれる力があることを知り、将来、食に携わる道に進みたいという夢が湧いてきました。

中学校の卒業文集に寄せた、将来の夢に「世界一のレストランを経営したい」と書きました。（世界一といっても大ききさではなく、心暖かなレストランを）やりたいと思いました。

多くの人にささえられて料理の道六十年以上を歩み、
お世話になった人々に感謝の気持ちを込めてお礼の言葉を述べたいと思います。